



URL <http://www.mct.ne.jp/users/obamasho/>

☎ 42-0501 FAX 42-0518



「学校のきまり」の見直しから学ぶ

校長 白田 実

1月末には、学校から雪の積もった桜島の様子も見られるなど、寒い日もありましたが、寒さも峠を越え、少しずつ春が近づいてきている感じがします。

小浜小学校では今年度に二つ「学校のきまり」の見直しが行われました。一つは靴と靴下の色などについて（令和5年10月）、もう一つは、寒い時期の長ズボンの着用について（令和6年2月）です。どちらの内容についても、子どもたちが大人の意見も参考にしながら話し合い、その結果をまとめた要望を校長に伝え、それを承認するという手続きをへて見直されています。

さて、令和4年6月に「こども基本法」が公布され、令和5年4月には、同法が施行されるとともに、「こどもまんなか社会」の実現に向け、総理大臣直属の機関として「こども家庭庁」が設置されました。「こども基本法」の第一条には「（前略）日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神にのっとり、（中略）こども施策を総合的に推進することを目的とする。」とあります。また、こども家庭庁のホームページでは「児童の権利に関する条約」の精神を理解する上で、4つの大切な考え方として、子どもの権利条約4つの原則を挙げています。

【子どもの権利条約4つの原則】

- 差別の禁止（第2条）
- 子どもの最善の利益（第3条）
- 生命、生存及び発達に対する権利（第6条）
- 子どもの意見の尊重（第12条）

「読んでみよう！子どもの権利条約第1条～40条」

（ユネスフ子どもの権利条約こども向けサイトより）



また、文部科学省が生徒指導の理論や考え方、実際の指導方法等についてまとめた「生徒指導提要」（令和4年12月改訂）の「まえがき」には、「こども基本法」が成立した趣旨を踏まえ、「（例えば、）校則の見直しを検討する際に、児童生徒の意見を聴取する機会を設けたり、児童会・生徒会の場において、校則について確認したり、議論したりする機会を設けること」が重要であると触れられています。

今回の「学校のきまり」の見直し・改善についてもこれらの趣旨を踏まえながら、子どもの最善の利益は何か、子どもの意見を尊重するためにどのような配慮が必要かなど、十分に検討し、取り組んできました。自分たちの起こしたムーブメントできまりの見直しが行われ、より過ごしやすい学校環境づくりに貢献できたことは、子どもたちにとって貴重な経験になったのではないのでしょうか。

令和2年度から改訂して実施されている学習指導要領で、よく「主体的・対話的で深い学び」というキーワードが出てきます。国語や算数といった教科学習以外の教育活動の場においても、主体的に、対話を通じて、深く考えることができる場面を設定し、子どもたちの意見に寄り添いながら、よりよい成長のきっかけをつくることのできるよう努めていきます。

【鹿児島学習定着度調査結果について】

1/16（火）、1/17（水）に本校5年生を対象に鹿児島学習定着度調査が行われました。結果は下のとおりです。

教科名	結果
国語	県平均を上回る
社会	県平均をととても大きく下回る
算数	県平均を上回る
理科	県平均をととても大きく上回る

【その他】

- ほとんどの問題に解答できている。
- 特に算数・理科の正答率が高かった。
- △ 資料を元に分析して解答する問題に不正解（解答が不十分なもの含む）が多かった。
- △ 文や文章の読み取りが不十分なことによるミスも見られる。

これらの調査結果を分析し、より分かりやすい授業づくりに努めていきます。

2月の生活目標

友だちについて考えよう

2月の保健目標

心の健康について知ろう

2月中旬～3月初旬の主な行事

【2月】

- 20日（火）プルタブ回収受渡式
- 21日（水）第71回県下一周市郡対抗駅伝応援
- 22日（木）ALT 来校
- 26日（月）こころの劇場鑑賞(6年)
- 27日（火）学校保健委員会
なわとび大会(授業参観)
学級PTA

【3月】

- 1日（金）すずかけ号来校
- 8日（金）お別れ遠足（6年生を送る会）
- 9日（土）家庭教育学級閉級式
親子ふれあい活動

1月の行事・できごと紹介

○ 新入学児体験入学

1/23（火）、新1年生の体験入学が行われました。

体験に来た子どもたちは、1・2年生の案内で学校を探検したり、一緒に遊んだりするなかで、あっという間に小浜っ子たちと仲良くなり、とても楽しそうに過ごしていました。案内役の1・2年生は、いつもよりお兄さん・お姉さんの顔になっていて、とても頼もしかったです。

なお、来年度の新1年生は、5人の予定です。また、現在のところ全児童数は35人で、そのうち特認生は14人となる見込みです。



○ 日本と世界の人形劇鑑賞会

1/12日（金）、子どもたちは「ハンガリーと日本の小さな舞台」というテーマでマイクロポディウムと肩掛け人形芝居を鑑賞しました。

ハンガリーのマイクロポディウムとは、人形遣いが手のひらに乗る小さな人形をまるで生きてるように動かし幻想的な世界を作り出す人形劇です。また、肩掛け人形芝居は、一人で数体の人形を操り昔話「三枚のお札」を楽しく演じました。

子どもたちは、幻想的な世界を静かに見守ったり、みんな知っている「三枚のお札」をどきどきしながら時に笑いながら見たりして楽しい時間を過ごしました。

また、お二人は3・4年生と5・6年生の教室で給食を食べて子どもたちと交流しました。中には、サインをもらったと嬉しそうに見せてくれる子どもたちもいました。



○ 大谷グローブが届きました。

アメリカメジャーリーグの大谷選手から贈られた通称「大谷グローブ」が小浜小学校にも届きました。

グローブは、使う子どもたちのことを考えて右利き用2つ（2サイズ）、左利き用1つ合計3つが送られてきました。

小浜小学校では、昼休みになると職員室にグローブを借りに来て、校庭でキャッチボールを楽しむ子どもたちの姿が見られました。

「野球しようぜ」大谷選手のメッセージは、しっかりと日本中の子どもたちに届いたことでしょう。

